

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れもんキッズ藍住		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 18日		令和6年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	72 (回答者数)	54
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 18日		令和6年 12月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特性に応じた専門性のある支援や、それに合わせた活動内容やプログラムについて検討し、提供できている。	毎朝職員ミーティングを実施し、利用児の状態や活動内容について検討している。支援の質・専門性を高めるため、毎月第3土曜日の午後に職員研修の時間を作り、療育アドバイザー(大学教授)に協力いただきながら、ケース検討等を行っている。	職員の専門性をより向上させることができるような研修内容や、外部講師・外部評価の導入等を検討していく。
2	保護者への説明や、関係機関との連携について丁寧に、適宜できている。	業務の中で報告・連絡・相談を意識し、情報を職員間で共有している。細かなことでも電話等で報告するようにしている。保護者からの要望に対して、柔軟に対応するよう意識して取り組んでいる。必要に応じて、関係機関とも積極的に情報共有を図っている。	今後も必要な情報を適宜共有し、保護者や関係機関と一緒に利用児支援に当たるよう取り組んでいく。
3	利用児が通所を楽しみにしている。保護者の支援に対する満足度が高い。	利用児が安心して、楽しく過ごせるよう活動内容を工夫している。支援者と会うのを楽しみにしてもらえよう努めている。保護者の要望にできる限り柔軟に対応できるよう検討している。	現在利用を継続している利用児・保護者の意見でもあることも考慮し、引き続き満足していただける支援・対応を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信について	ホームページはあるが、情報の更新に限られたものになっている。SNSや会報のような情報発信はできていない。	ホームページのリニューアルを検討する。合わせて、内容を適宜更新したり、情報を発信していくための仕組みを簡素にし、取り組み易い方法も検討していく。
2	保護者会や参観機会の少なさ	保護者が集まりやすい日の設定が難しい。参観希望があれば、随時受け付けているが、保護者から希望が出しにくいのかもかもしれない。	参観機会については、保護者面談と合わせて「参観できる期間」を設定し、アンケートを取る形で検討する。保護者会については、保護者向けの研修を企画し、前後で保護者同士が交流を図れるような形を検討する。
3	地域との交流	地域の保育所・幼稚園・認定こども園と併用している児が多く、普段から関わりがあることもあり、改めて交流する機会を設定するまでに至っていない。	併用されていない児を対象に、近くの保育園等との交流機会を作ることを検討する。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		れもんキッズ藍住					公表日	令和7年 3月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2 △(1)	一室に人数が偏らないよう常に目配り指示して移動できている。 部屋を細かく分けている(活動)	日による				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	7 無(1)	デイ・センター、それぞれがヘルプに入っている。	個別が必要な児童に対して職員数が少ない時がある。 来所時が重なったりすると支援が手薄になっていることもある。 職員はもう少し必要と思います。 利用児を特性や相性、課題で分けた時に手厚くしてあげたいが足りていない。 仕方ないかもしれないが、日によって多いと感じたり少ないと感じることがある。 時間帯、職員の人員により安全性に少し問題あり 午前中は子どもの人数に対して職員が多い日があり、手待ち無沙汰になっている時がある。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	4		さくらの部屋を一番利用することが多いが足の裏が汚れているのを見て、毎日の床拭きの必要性を感じる。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	5	消毒や目に見える部分は清潔を心がけている。	カレーパンの部屋を利用して落ち着く児童がいるが職員数が無理な時がある。 片づけやすい取り出しやすいなど使いやすい空間にするには改善する必要がある。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1 △(1)		個別の部屋をあと少し増やした方がいいと思う。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2 △(1) 無(1)						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1 無(1)		出来ていると思います。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14			ミーティングの機会を設けて話し合っている。業務の合間をみて実施しているのでなかなか定期的にはできないのが課題と感じる。 クラスミーティングの場を設けている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	無(2)						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	無(1)		研修に参加する職員がある程度決まっている。 もっと参加しやすい体制づくりがあれば職員の質向上につながると思う。 パートさんにも第3土曜日に研修を受ける機会を設けてくれている。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	1 無(1)						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	無(1)		詳しくはわかりませんが、工夫はしていると思います。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	無(1)						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1 △(1) 無(1)						

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	2 無(1)		工夫はあると思います。 地域支援、連携が詳しく理解できていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	無(2)		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	無(1)	活動プログラムによっては参加するメンバーも固定しないよう配慮していると思う。 内容・利用児によっては同じ内容の活動を続けることで成功体験があると思う。	準備時間の確保(改善)
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	△(2) 無(1)		準備時間の確保(改善)
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	1		ミーティングでの全体周知や新しい活動内容を実施した時には次回の修正点などを各クラスの職員で話している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	△(1)		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1 △(2) 無(2)		職員のシフトにより適切に行っているとは思わない。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	無(2)		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	△(1) 無(2)		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1 無(2)		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	無(2)		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	1 無(4)		行っていると思います。 相談支援の方を中心に他事業所との連携はとれていると思う。しかし、地域全体の質の向上に対する具体的な取り組みはできていないと思う。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10	無(4)		月1回の大谷先生のケース会議は勉強になる。外部研修はハードルが高いと感じている職員が多いと思う。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	△(3) 無(4)		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	1 0 無(3)		他の園に行くなど交流はない。感染症対策などで実現は難しいのかなと感じる。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	1	連絡帳でのやりとりも大事にしている。	「日頃」というのが直接迎えの人しかできていないと思う。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3 無(3)		ペアトレは今年度実施していない。ペアトレができる職員が限られているため、できる職員を増やすなど改善が必要。 以前はペアトレがあったが今は行われていないと思う。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	△ (1) 無 (2)		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	無 (2)		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	無 (2)		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	無 (1)		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6 △ (1) 無 (4)		関わりが少ない。 交流会など実施できていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	無 (2)		発信していると思います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1 △ (2) 無 (3)		HPの存在を保護者が知っているかわからない。空き状況や休館のお知らせが発信されているが、より多くの方知ってもらうためには、SNSの活用やHPの活用を考慮する必要があると思う。 HPはあると思うが定期的に通信はできていないと思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6 △ (1) 無 (4)		成人の「れもんマルシェ」のような行事をれもんキッズ右井と合同で年1回でも開催出来たらいいなと感じる（第3土曜を使い、夏祭りをするなど）。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14			契約の時に非常時の対応も説明していると思うが、時間が経過すると忘れてしまうこともあると思う。そのため、台風や感染症の時期、防災の日などに保護者にもう一度お手紙を配布した方がいいなと感じる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14			非常災害の発生に備え、職員にもこんな時はどこに避難するのかなど研修を実施してほしい。また訓練も時々抜き打ちのように実施し、緊張感を持った訓練をしてもいいのでは。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	無 (1)		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	無 (1)		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	△ (1) 無 (1)		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	無 (3)		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	無 (3)		虐待防止の研修は繰り返し行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	△ (2) 無 (3)			